

## 全校朝会講話 「よさを生かす」

全校のみなさん、おはようございます。2週間前の全校朝会で宿題を出しましたが、進んでいるでしょうか。自分のよさと友達のよさについて考えることです。 どうか？

今日は、私がある学校で6年生の担任をしていたときのことを話します。そのクラスには、サッカーがとてもうまい子がいました。その子がボールをキープしていると、5～6人の友達が一斉にそのボールを取りに行っても、さらりとかわされてしまうほどでした。

ある日、クラスの集会（お楽しみ会）でサッカーのゲームをすることになりました。チームの決め方も話し合い、まずキャプテンを選び、そのキャプテンが相談してチームを決めることになりました。出来上がったチームのメンバーを見て、私は少し驚きました。その子のチームは、サッカーが苦手な子しかいなかったのです。ボールが自分のところに来ると逃げてしまうような子ばかりです。少し心配になって、その子に「これでいいの？」と聞きました。答えは「いいよ！」というものでした。

もしかしたら、攻めも守りも一人でやって、ヒーローになるつもりなのかな、とも思いましたが、彼はそういうタイプではありません。どうするのか、すごく楽しみでした。

集会当日、いよいよゲームが始まりました。相手チームからボールを奪った彼は、しばらくその場でキープしています。相手チームの子は、一人ではボールを取り返せないし、攻め込まれたら困るのでみんな彼に寄ってきます。そのとき、彼はゴール前にいる味方に何ともやわらかいパスを出し、そのボールを受け取った子は見事にゴールを決めることができました。自分は苦手で、サッカーなんか楽しくないと思っていたその子は大喜びです。相手チームが自分に寄ってこないときには、ちょっとだけ攻め込もうとする様子を見せます。すると相手チームの何人かが近付いてきます。そして、同じことの繰り返しです。

集会のあと、彼に聞いてみました。「楽しかったか？」 彼はOKサインを出しました。そして、こう言いました。「自分のサッカーはクラブチームでやるからいいよ。お楽しみ会のサッカーはこれでいいんだ。」自分なりの方法で、ちゃんと楽しんでいたようです。同じチームになった子の中には、「初めてサッカーが楽しいと思った。」という子もいました。他のチームの子は不満をもっているかなあとも思いましたが、「やっぱ、すげーなあ」とか「今度はサッカー以外のことで勝負しよう！」などと前向きな感想をもつ子がほとんどでした。

今お話しした子は、サッカーが上手だということの他に、友達思いだというよさもありました。自分の2つのよさを生かして、自分も楽しみ、友達も楽しませ、クラスの雰囲気までよくしたのです。この出来事は、私にとってずっと忘れられないものとなりました。ちなみに、その子ですが、今はJリーガーとして活躍しています。これで、お話を終わります。